

事業所一覧

株式会社 カンツール

ホームページアドレス: <https://kantool.co.jp/>
メールアドレス: info-kantool@kantool.co.jp

フリーコール 0120-812-432

●北海道営業所 〒004-0031
北海道札幌市厚別区上野幌一条4丁目1-3
TEL.011-801-8881 FAX.011-896-8885

●東京営業所 〒271-0065
千葉県松戸市南花島向町315-5
TEL.047-308-3633 FAX.047-308-3634

●東京営業所 仙台オフィス 〒984-0831
宮城県仙台市若林区沖野6-26-26 ツツ星ハイツ106号室
TEL.022-290-5262 FAX.022-290-5263

●名古屋営業所 〒452-0822
愛知県名古屋市西区中小田井2-486
TEL.052-504-2321 FAX.052-504-3614

●大阪営業所 〒536-0007
大阪府大阪市城東区成育1-6-26
TEL.06-7711-3470 FAX.06-7711-3474

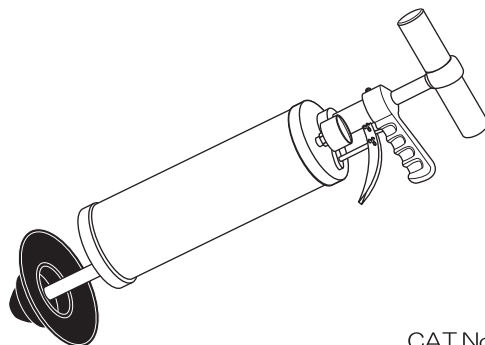
●九州営業所 〒814-0151
福岡県福岡市城南区堤1-32-20 オフィスパレア堤I3号室
TEL.092-407-2433 FAX.092-407-2434

●松戸テクニカルセンター 〒271-0065
千葉県松戸市南花島向町315-5
TEL.047-308-2271 FAX.047-369-1161

●本社 〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町1-3 ヨンヤ日本橋ビル8階
TEL.03-5962-3240 FAX.03-5962-3241

取扱説明書

排水管清掃器 バリュー・ラム



CAT.No.GQ-4

このたびは、弊社排水管清掃機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、ご理解の上、正しく安全にご使用ください。本製品が届いたときに、ご注文の商品に間違いがないか、また、輸送中の事故などで破損や変形がないかお確かめください。万一、不具合があった場合は至急お買い上げの販売店、または、弊社営業所にお申し付けください。

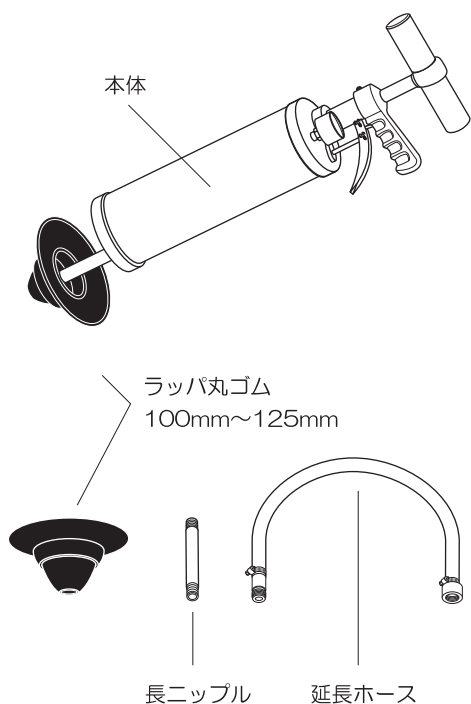
本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。



Value Snake

2021-12

商品の構成



本体寸法 (mm) W180×L120×H650
本体質量 4.2kg

安全にお使いいただくために

- 製品を使用する前に必ずお読みください。
- 注意事項を守って製品をご使用ください。
- この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるように、お手元に保管してください。

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくために次のマークを使用して説明しています。



注意

この表示事項を無視して、誤った取扱をすると、障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般的な注意事項



注意

- 本機は排水管の詰まりを取り除くためにデザインされたツールです。使用目的以外の用途には使用しないでください。
- 作業時に汚水が飛散することが想定されます。ビニールシートなどで十分養生をおこなってください。
- 作業前に本機に亀裂、破損、変形がないか点検してください。これらの状態で使用すると怪我や事故の原因となります。

作業方法

作業手順

詰まりに最も近い排水口、もしくは掃除口で清掃作業を行います。場所を決めたら以下の手順に従って作業を進めてください。

- ①水への衝撃を与えるのが原理ですから、パイプには必ず水をいっぱい溜めてください。
- ②バリュー・ラムに必要な圧力まで空気をためます。0.2～0.3MPa程度が目安です。圧力計を確認してください。
- ③ゴム栓部分を排水管にしっかり押し込みます。逆流を防ぐため、体重をかけて十分押し込んでください。
- ④トリップハンマー効果を出すため、すばやく一瞬で引き金を引いてください。また、エア発射後はバリュー・ラムへの水の浸入を防ぐため、直ちに引き金を戻してください。
- ⑤衝撃により詰まりが吹き飛びます。続いて温水を十分流し込み、残った残骸を洗い出します。もし、詰まりが残っていたら、詰まりが取り除かれるまで圧力を0.1MPaづつ徐々に上げて同様の作業を行ってください。



警告注意

初めは低圧で様子を見ながら作業を行い、徐々に圧力を上げていきます。最大使用圧力は、0.4MPaです。それ以上圧力を上げての作業はしないでください。他の作業方法（ワイヤー清掃機等）を取ってください。



警告注意

年数を経た古い設備では、配管が脆くなっている場合があります。衝撃波により、配管が外れたり破損することがあります。事前に配管をよく点検調査し、不安がある場合には、作業を中止するか、依頼者とよく相談して、了承を得た上で作業を続行する必要があります。



警告注意

- ①はじめから高圧での使用は避けてください。配管設備を傷めたり、破損することがあります。また、詰まりによってはますます固まって貫通しにくくなる場合があります。
- ②発射口部は養生シートで覆ってください。汚水の逆流、飛散の恐れがあります。
- ③同一配管にある洗面器、トイレには栓をして汚水が飛散しないようにしてください。また、栓をすることは、衝撃波が詰まり部分に対し集中する効果もあります。

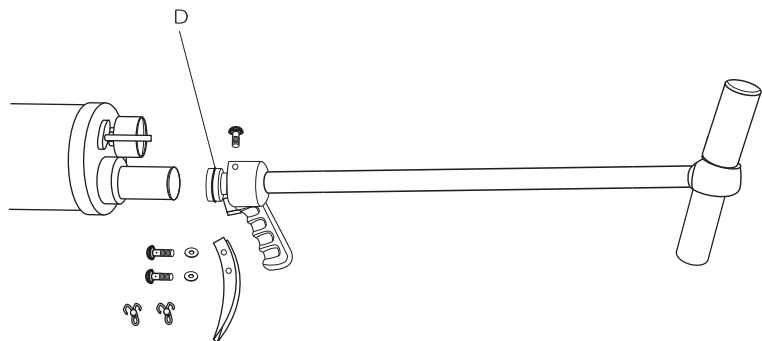
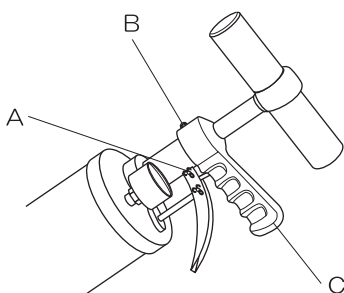
作業終了後の保守

Oリング

エアポンプ内のOリングは定期的にグリス（リチウムグリス、またはシリコングリス）を塗布してください。グリスが切れるとエア圧縮ができなくなります。また、点検時にOリングに切れや磨耗がある場合には、直ちに交換してください。

Oリングの交換方法

- ①Aのピンを外します。
- ②Bの固定ネジを外します。
- ③Cのハンドルを回して、ポンプシャフトを引き出します。
- ④DのOリングを交換します。



水抜き

作業終了後は低圧をポンプに入れ、引き金を引き水抜きを行ってください。

保管

本体、および、ゴム栓、ホースに異常がないか点検、清掃を行ったあと保管してください。